



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月5日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東
コード番号 1376 URL <https://www.kanekoseeds.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 2024年2月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	26,540	△6.1	386	△27.6	464	△22.4	312	△29.2
2023年5月期第2四半期	28,276	9.2	534	103.9	598	77.6	441	124.7

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 279百万円 (△38.1%) 2023年5月期第2四半期 451百万円 (75.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	27.32	—
2023年5月期第2四半期	38.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第2四半期	41,272	23,563	57.1	2,057.93
2023年5月期	46,707	23,513	50.3	2,053.62

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 23,562百万円 2023年5月期 23,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	11.00	—	20.00	31.00
2024年5月期	—	11.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	—	—	20.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	2.9	1,850	3.6	2,000	4.5	1,450	1.7	126.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	11,772,626株	2023年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	322,890株	2023年5月期	322,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	11,449,749株	2023年5月期2Q	11,574,389株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2024年5月期2Q 66,600株、2023年5月期 66,600株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年5月期2Q 66,600株、2023年5月期2Q 66,600株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで、経済活動の正常化が進んだことや、インバウンド需要の回復などにより、企業収益や個人消費行動に持ち直しが見られました。その一方、ロシアによるウクライナ侵攻等による原材料・エネルギー価格の高止まりが、企業活動や家計に暗い影を落とす状況が続いております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、円安などに伴う輸入飼料や生産資材の高騰によるコスト高、天候不順による不安定な作柄や収穫時期の変動など、これまで経験したことのない事象が散見されております。

このような状況のなか当社グループの業績は、売上高265億40百万円で前年同期比17億36百万円(6.1%)の減収となり、利益面でも、営業利益3億86百万円で前年同期比1億47百万円(27.6%)減、経常利益4億64百万円で前年同期比1億34百万円(22.4%)減、親会社株主に帰属する四半期純利益3億12百万円で前年同期比1億29百万円(29.2%)減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、タマネギやカボチャ等の野菜種子の輸出が伸びました。さらに、牧草種子関係で、緑化工事用種子が工事量減少による販売減があったものの、牧草種子全般での値上げ効果から販売額が増加いたしました。その結果、売上高40億円で前年同期比1.7%の増収となりました。利益面では、人件費の増加や種子品質向上のため物流保管施設を充実させたことに伴うコストアップ等により、セグメント利益3億12百万円で前年同期比5.3%減となりました。

花き事業

花き事業においては、営利栽培農家向けのユーストマ種苗やカーネーション苗に加え、家庭園芸用花苗・野菜苗及び園芸農薬の販売が増加したものの、巣ごもり消費が落ち着いたことから球根や園芸資材の販売が減少し、売上高32億45百万円で前年同期比0.2%の減収となりました。利益面では、人件費等の増加により、セグメント損失97百万円(前年同期のセグメント損失は66百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、主要取扱い商品の農薬が、前年同期に値上り前需要により販売が増加した反動や、生産者の節約志向に伴う散布頻度や散布量の減少で販売が低迷し、売上高129億16百万円で前年同期比9.3%の減収となり、利益面でも、セグメント利益5億71百万円で前年同期比7.1%減となりました。

施設材事業

施設材事業においては、農業資材価格の高止まりが、生産者の買い控えや設備投資意欲の減退を招いたことから販売が減少し、売上高63億78百万円で前年同期比6.8%の減収となり、利益面でも、セグメント利益75百万円で前年同期比42.5%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、412億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して54億35百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、177億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して54億85百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、毎期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、235億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して8億4百万円増加し、29億19百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、80百万円（前年同期は23億6百万円の使用）となりました。

これは主に、売上債権の減少額67億67百万円、棚卸資産の減少額6億84百万円及び税金等調整前四半期純利益4億64百万円の計上が、仕入債務の減少額77億87万円を上回ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億28百万円（前年同期比92.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得により3億90百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、11億39百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月11日の「2023年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,185	3,252,502
受取手形及び売掛金	20,720,127	13,661,656
電子記録債権	388,356	709,513
商品	10,231,778	9,547,042
未収入金	2,182,034	3,089,212
その他	271,469	372,398
貸倒引当金	△20,996	△13,995
流動資産合計	36,220,954	30,618,330
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,999,060	4,231,587
その他(純額)	2,785,940	2,873,872
有形固定資産合計	6,785,000	7,105,460
無形固定資産	720,780	643,355
投資その他の資産		
その他	3,000,461	2,927,650
貸倒引当金	△19,321	△22,747
投資その他の資産合計	2,981,139	2,904,903
固定資産合計	10,486,921	10,653,718
資産合計	46,707,875	41,272,049
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,448,024	12,676,608
短期借入金	—	1,390,000
未払法人税等	306,191	175,995
その他	1,813,531	1,853,909
流動負債合計	21,567,747	16,096,514
固定負債		
退職給付に係る負債	1,265,239	1,253,751
役員株式給付引当金	65,563	76,963
その他	295,492	281,736
固定負債合計	1,626,295	1,612,451
負債合計	23,194,042	17,708,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	19,721,047	19,803,533
自己株式	△477,057	△477,161
株主資本合計	22,500,481	22,582,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956,629	886,787
為替換算調整勘定	2,373	33,863
退職給付に係る調整累計額	54,087	59,278
その他の包括利益累計額合計	1,013,089	979,929
非支配株主持分	262	289
純資産合計	23,513,832	23,563,083
負債純資産合計	46,707,875	41,272,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	28,276,711	26,540,495
売上原価	24,025,191	22,291,782
売上総利益	4,251,519	4,248,712
販売費及び一般管理費	3,717,485	3,862,129
営業利益	534,034	386,583
営業外収益		
受取配当金	32,842	40,992
受取家賃	34,430	36,352
その他	9,457	11,218
営業外収益合計	76,731	88,563
営業外費用		
支払利息	6,589	8,176
為替差損	4,670	542
その他	508	1,536
営業外費用合計	11,768	10,255
経常利益	598,997	464,890
特別利益		
固定資産売却益	148	—
特別利益合計	148	—
特別損失		
固定資産処分損	4,147	625
特別損失合計	4,147	625
税金等調整前四半期純利益	594,997	464,265
法人税等	153,091	151,423
四半期純利益	441,905	312,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	441,875	312,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	441,905	312,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,756	△69,841
為替換算調整勘定	17,793	31,490
退職給付に係る調整額	3,950	5,190
その他の包括利益合計	9,987	△33,159
四半期包括利益	451,893	279,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,850	279,632
非支配株主に係る四半期包括利益	42	49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	594,997	464,265
減価償却費	221,972	238,230
売上債権の増減額 (△は増加)	6,220,453	6,767,326
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△690,722	684,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,439,969	△7,787,315
その他	△102,303	△106,075
小計	△2,195,572	260,543
法人税等の支払額	△136,524	△212,457
その他	25,489	32,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,306,607	80,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△124,069	△390,970
無形固定資産の取得による支出	△16,491	△28,148
投資有価証券の取得による支出	△55,654	△7,711
その他	△26,494	△1,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,709	△428,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,490,000	1,390,000
配当金の支払額	△207,978	△229,709
自己株式の取得による支出	△125	△103
その他	△18,397	△20,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,263,499	1,139,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,246	12,525
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,257,571	804,316
現金及び現金同等物の期首残高	4,776,488	2,114,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,518,917	2,919,002

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,933,572	3,253,224	14,247,248	6,842,666	28,276,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,933,572	3,253,224	14,247,248	6,842,666	28,276,711
セグメント利益又は損失(△)	330,046	△66,018	614,765	131,167	1,009,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,009,960
全社費用(注)	△475,926
四半期連結損益計算書の営業利益	534,034

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,000,786	3,245,266	12,916,277	6,378,165	26,540,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,000,786	3,245,266	12,916,277	6,378,165	26,540,495
セグメント利益又は損失(△)	312,591	△97,123	571,199	75,439	862,107

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	862,107
全社費用(注)	△475,524
四半期連結損益計算書の営業利益	386,583

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。